

委員会等会議録（調査・研究概要）

平成29年2月3日

箱根町議会議長 様

総務企画観光常任委員会委員長

箱根町委員会条例第26条に規定する会議概要等(会議録)を作成したので報告します。

会議名		総務企画観光常任委員会
開催日		平成28年7月25日（月）
時間		午前9時から 午前11時35分 まで
開催場所		本庁舎4階会議室
出席者	議会	山田成宣委員長、村野由紀子副委員長、川口延明委員、山田和江委員、西村和夫委員、沖津弘幸委員
	執行部	吉田企画観光部長、村山企画課長、伊藤企画課副課長
	事務局	片倉事務局長、高梨書記、鴻田
	傍聴者	公開・非公開の別：公開 傍聴者：なし
議事日程		日程第1 第6次総合計画について
会議概要		<p>1 概要</p> <p>日程第1 第6次総合計画について 前回（7月5日）の会議において町側より説明を受けた、第6次総合計画について質疑等を行った。また、第5次総合計画に係る昨年までの評価についての資料提供があった。</p> <p>主な質疑等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会との連携が必要ではないか。 ⇒審議会に、自治会の代表が1名おり、積極的な意見を出してもらっている。 ・健康づくりの観点から、さくら館のプールをもっと活用できないか。 ⇒社会保障の抑制にも繋がることから、利用促進を図る。 ・定住化の促進、特に空き家対策の一連の流れは。 ⇒首都圏から移住相談に来ている方は、若い方も多い。住むには、働く場所、住まいが必須である。空き家バンクの運営は今までも行っていたが、宅建協会の協力を得てスムーズに行えるようになった。 ・議会にはいつ頃提案するのか。 ⇒28年12月定例会に提案する予定である。 ・町民アンケートの中では交通費の問題が上位にあった。住民の要望はどのように反映されるのか。 ⇒基本構想では大枠を示し、計画は主管課を中心に考えていく。 ・団塊の世代が増えてくる。その人たちに協力してもらうための構想はあるのか。また、地域の人に町を作ってもらいたい。

⇒自治基本条例においても、町民主体を考えている。わかりやすく、皆で作っていけるような町づくりをしていきたい。年寄りの姿を見て若者が育っていくようになると良い。

・町が全てやる時代ではない。町民の活動団体・ボランティアの育成が必要。

⇒10年間の中で強くしていく必要がある。

・国県道の耐震化について

⇒ヒアリングの中でも話題になったが、煮詰まらなかった。どういうふうに協力していくか考えていく。

・定住化するようになるには交通費の補助が必要。

⇒終バス等についてはバス会社に交渉をしているが、値下げの交渉は行っていない。本当に必要な人にお金を配分していきたい。